

令和6年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) (国補) ・ 県単

事業名	道路事業 [県道橋りょう改築事業 (国補)]		事業箇所	甲府市下飯田～飯田	地区名	(一) 中下条甲府線 (長松寺橋)	事業主体	山梨県
-----	------------------------	--	------	-----------	-----	----------------------	------	-----

計画期間	当初計画	現計画	変更計画
	H23～H30	H23～R10	—
総事業費	950 百万円	2,800 百万円	— 百万円

(1) 事業の概要

①事業目的及び効果

県道中下条甲府線は甲斐市(旧敷島町)を起点に甲府市中心部に至る道路であり、当該箇所付近は商店やオフィス、高等学校があることなどから、朝夕の通勤時間帯を中心に自動車や自転車の交通量が非常に多くなっている。また、長松寺橋付近は道路線形が悪く片側にしかない歩道も幅員が狭いため交通の隘路となっている上、橋梁自体も建設から約60年が経過し老朽化が進み十分な耐震性能を有していないため、老朽橋対策(橋梁架替え)や現道対策(歩道設置・線形改良)が急務となっている。

- 主要目標 ○災害に強い道路の確保
 危険度(橋梁等) : 要対策
 老朽度(残存老朽度) : 0.83 > -
 緊急輸送道路の指定 : 指定あり(第二次緊急輸送道路)
 自動車交通量 : 12,377台/12h (H17センサス)
 > 3,340台/12h以上※
 ※評価基準値
- 副次目標 ○生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上
 □副次効果 ○走行安全性の確保

②事業概要
 計画延長:L=478m W=6.0(17.0)m
 道路幅員:車道6.0m(2車線) 自転車通行帯1.5m(両側) 歩道2.5m(両側)

③全体計画		令和5年度まで	令和6年度 (評価実施年度)	令和7年度以降
現計画	工事内容	測量及び道路設計 用地取得・補償 道路改良工 仮橋工・橋梁工	橋梁上部工	橋梁上部工 交差点改良工 仮橋撤去工 道路改良工・舗装工
	事業費	1949 百万円	433 百万円	418 百万円
変更計画	工事内容	測量及び道路設計 用地取得・補償 道路改良工 仮橋工・橋梁工	橋梁下部工 橋梁上部工	橋梁上部工 交差点改良工 仮橋撤去工 道路改良工・舗装工
	事業費	2253 百万円	197 百万円	350 百万円

※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

④特記事項(関連事業概要等)
 ・荒川河川工事(R5～R7)

⑤これまでの評価状況(令和元年度再評価)
 計画への地元合意が概ね得られたこと、この事業の完成により、現行基準を満たした橋梁となるとともに、走行安全性の確保が期待されることなどから、見直し案により事業を継続することが妥当である。

(2) 事業位置図等



2.評価シート（1）

（1）事業を巡る社会経済情勢等の変化

（今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）

①地域・住民の意向状況

変化なし

②産業・経済情勢

変化なし

③国等の方針

変化なし

④上位計画・関連事業計画等

- ・「山梨県総合計画」（令和5年10月改訂）
- ・「山梨県強靱化計画」（令和6年3月改定）
- ・「山梨県社会資本整備重点計画（第四次）」（令和4年9月改定）
- ・「山梨県道路の整備に関するプログラム」（令和6年3月改定）

⑤自然環境条件等

変化なし

⑥その他

変化なし

（2）評価時点の費用対効果分析

項目		着手時点		変更計画時点	
総事業費			百万円		百万円
工期		～		～	
評価基準年					
経済 効 率 性	費用		百万円		百万円
	建設費		百万円		百万円
	維持管理費		百万円		百万円
	その他()		百万円		百万円
	便益		百万円		百万円
			百万円		百万円
			百万円		百万円
	その他※		百万円		百万円
B/C					

※老朽化した橋梁の架け替え事業であり、費用便益の算出規定がないため
不算出

（3）これまでの計画変更等の概要

（令和元年度再評価）

地元協議結果等による道路構造の見直しによる総事業費及び計画期間の変更

- ・総事業費 9.5億円 → 28億円
- ・完成年度 平成30年度 → 令和10年度

評価シート（2）

（4）事業進捗状況及び見込み

①進捗率
別表のとおり。
R6年度進捗率（現計画）85.1%→（実績）87.5%→（変更計画）87.5%

②進捗率実績が計画と相違している理由
なし

③総事業費の変更内容

変更工種等	事業費増減	変更理由
合計		

④事業期間の変更理由及び進捗予定
なし

⑤今後の事業執行における留意点
なし

（5）環境負荷等への配慮

なし

（6）コスト縮減の可能性

なし

（7）代替案立案の可能性

なし

（8）所管部の今後の方針 **継続**・見直し継続・その他（ ）

（理由）
災害時の緊急輸送道路としての機能強化や走行安全性の確保に寄与する重要な事業である。令和元年度に見直した計画のとおり順調に進捗しており、令和10年度の完成を予定している。

○別表-進捗率（事業費ベース）

算出方法：【上段】現計画の計画事業費／総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費／総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費／総事業費×100 単位：%

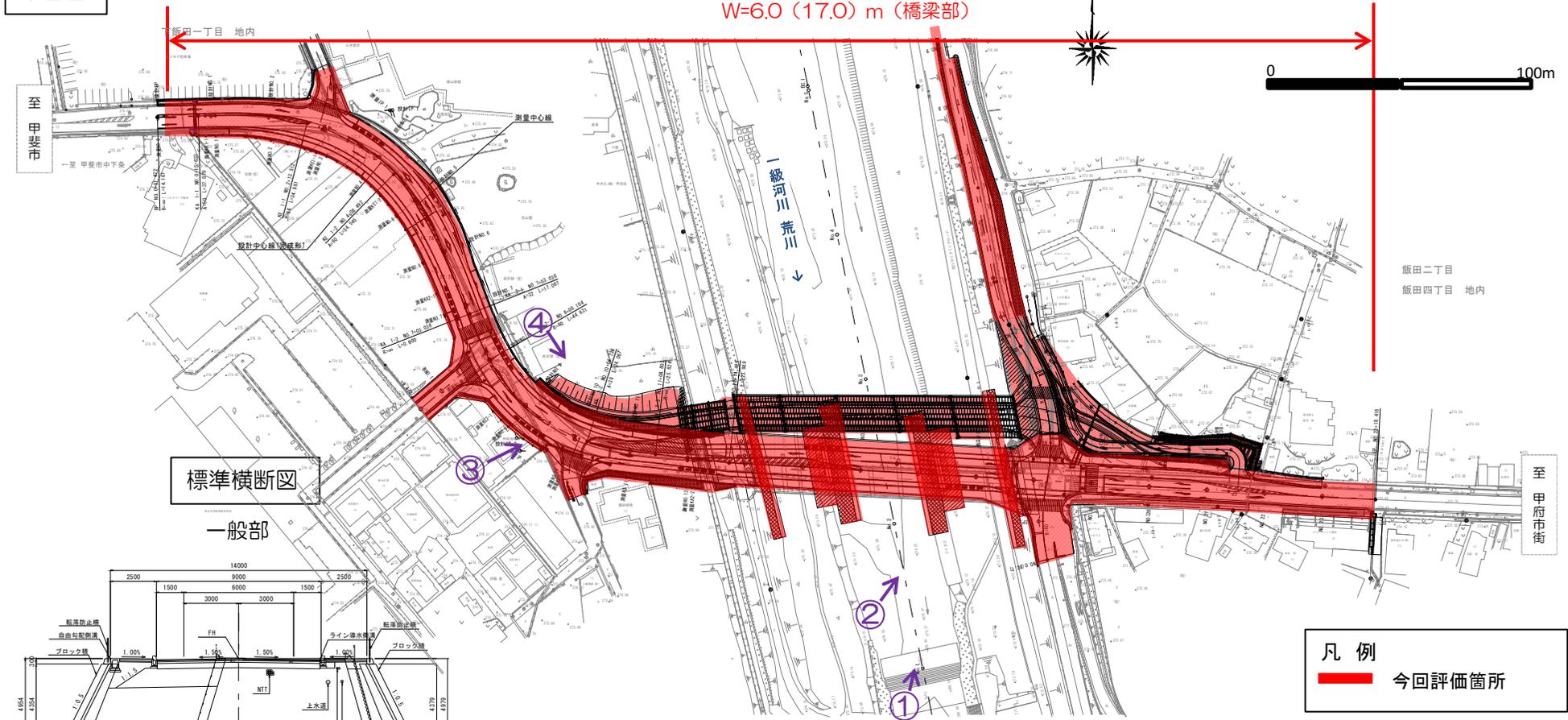
年度	*H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	*R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
現	計画	3.6	8.2	11.8	13.0	13.6	21.6	23.7	33.0	42.3	51.5	58.2	65.3	69.6	85.1	94.4	96.7	99.1	100
	実績	3.6	8.2	11.8	13.0	13.6	21.6	23.7	33.0	46.0	53.2	57.8	68.3	80.5	87.5				
変更計画														87.5	91.1	94.6	98.2	100	

*事業着手年度又は評価年度
*R6年度の実績は見込み

3. 添付資料シート (1)

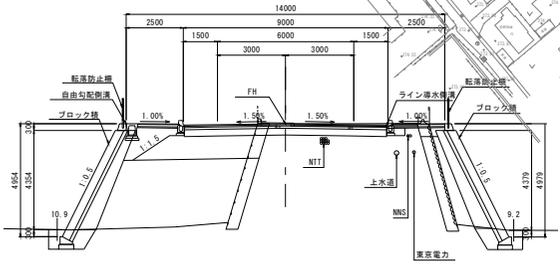
平面図

長松寺橋架け替え L=478m W=6.0 (14.0) m (一般部)
W=6.0 (17.0) m (橋梁部)

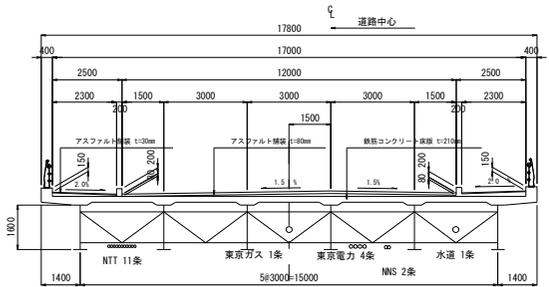


標準横断面図

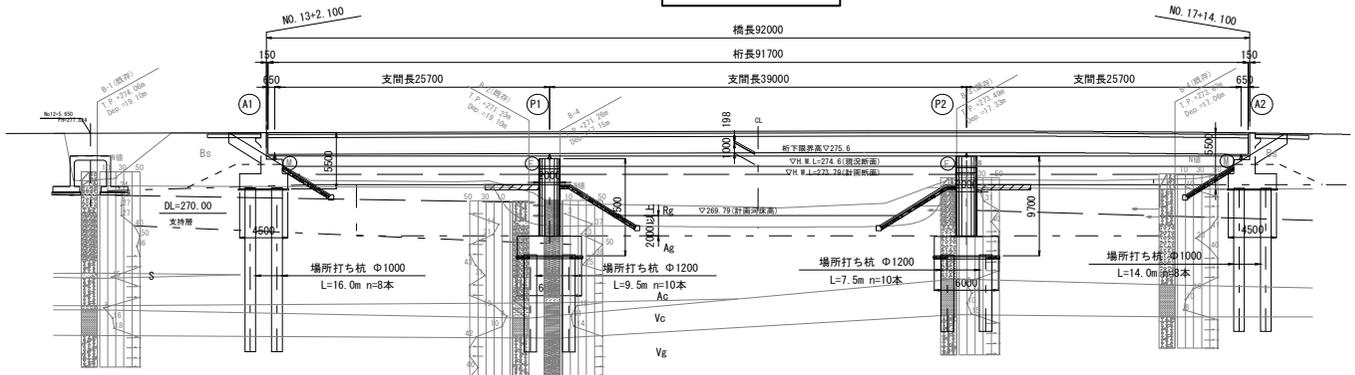
一般部



橋梁部



橋梁一般図



凡例
■ 今回評価箇所

3.添付資料シート(2)

①全景(下流から上流方向)



②長松寺橋左岸(P2橋脚)



③幅員が狭く、車両が対向車線にはみ出している
また、自転車走行空間が確保されていない



④通勤・通学時間帯の状況
(事業化した平成23年頃の様子)



4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H23	99,943	用地測量調査・路線測量・道路・橋梁設計・用地補償	3.6%
H24	129,030	橋梁詳細設計・用地補償・道路改良工事	8.2%
H25	102,469	用地補償・道路改良工事	11.8%
H26	31,945	用地補償・道路改良工事	13.0%
H27	17,645	交差点修正設計・道路改良工事	13.6%
H28	224,608	用地補償・護岸修正設計	21.6%
H29	58,456	用地補償・側道工・交差点改良工（暫）	23.7%
H30	258,653	側道工・交差点改良工（暫）・仮橋工	33.0%
R1	365,165	交差点改良工事（暫）・移設補償	46.0%
R2	202,252	旧橋撤去工事	53.2%
R3	127,585	旧橋撤去工事・橋梁照明工事・道路修正設計	57.8%
R4	294,349	橋梁下部工事（A1・P1）	68.3%
R5	341,423	橋梁下部工事（P2）・道路改良工事（函渠工）	80.5%
R6	196,477	橋梁下部工事（A2）・橋梁上部工（制作）・用地補償	87.5%
R7	100,000	橋梁上部工（架設）	91.1%
R8	100,000	橋梁床版工事・橋面舗装工事・交差点改良工事	94.6%
R9	100,000	仮橋撤去工事	98.2%
R10	50,000	道路改良工事	100.0%
合計	2,800,000		